

平成25年度 盛岡大学附属高校 学校自己評価及び学校関係者評価書

1. 今年度の重点目標・具体的な取り組み

学校経営方針	キリスト教主義に基づいて教育を行い、愛と奉仕の精神を体した人格を形成する。
本年度学校重点目標	1)生徒の豊かな成長を保証する場としての学校づくりを進める。 2)入学者の定員を確保すると共に、新学習指導要領に基づく教育課程を計画に従い実施し、盛岡大学との高大連携を充実させる。
本年度の具体的な取り組み	1)受験者数・入学者数を増やす。 2)活力あるPTA活動の推進とともに、学習活動の環境を確保する。 3)学力向上に努める。 4)規律ある学校生活を実現する。 5)安定した進路実績を実現する。 6)心身の健康に問題を持つ生徒の早期発見に努め、支援が必要な生徒に対応する。 7)地域に信頼される開かれた学校づくりに取り組む。

本年度の学校自己評価の結果

	重点目標	具体的方策	自己評価		学校関係者評価	
			達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
1.学校経営	150名の入学定員を確保し、安定した教育環境の維持・発展を図る。	専願推薦入学者90名、一般入試志願者400名を確保する。	A	きめ細かな広報活動が、以前に増して求められる。受験生に支持されるような、改善が必要である。	A	A
学校関係者評価者による意見		地域では、面倒見の良い学校としての評判が高くなっている。広報活動も今年度は功を奏したのではないかと。また、野球部を中心に挨拶をする生徒が増えていて印象がよい。				
2.総務・渉外	活力あるPTA活動の実施とともに、学習活動の環境を確保する。	PTA活動の活性化をはかり、会報を年3回発行する。	A	参加しやすい雰囲気作りや、魅力的な企画を提案したい。	A	A
		生徒の学習環境の確保に努め、避難訓練・防災教育の充実を図る。	A	防災講話は今後も実施し、生徒の意識を高めたい。	A	A
学校関係者評価者による意見		PTA活動に参加しやすい雰囲気があってとても良い。先生方の努力に感謝している。防災講話は震災対応も出来ているので続けて欲しい。震災の訓練はとても重要であり、事前通告なしの避難訓練も検討してほしい。				
3.学習指導	自ら学ぶ意欲を育て、学習する習慣を身につけさせる。	各教科週2回家庭学習課題を出し、家庭学習の定着を図る。	B	意義とねらいを再確信し家庭学習を充実させ学力向上を目指したい。	A	A
		各期の定期考査前に学業不振者に補習を実施する。	A	欠点科目の1科目取得生徒を減少させたい。	A	A
	教員の授業力向上を図り、生徒の学力向上に努める。	授業交換や教科内授業等により可能な限り自習時間を無くし、授業時間の確保に努める。	A	各行事に対応した臨時時間割を作成して、対応していきたい。	A	A
		校内研修会の充実と校外研修の積極的参加に努める。	A	継続して、研修会に参加し、観点別評価の取り組みを強化したい。	A	A
学校関係者評価者による意見		宿題は指導されてやっているけれど、習慣化されてきた生徒もいる。学ぶ意欲が「学ぶよこび」に下支えされていれば、自分の為の勉強となり定着に結びつくと思う。				
4.生徒指導	基本的な生活習慣の確立、学習規律の徹底を図り、問題行動の未然防止と、事後指導の徹底を図る。	生徒1人ひとりの「チェックシート」を利用し、遅刻を減少させる。	A	遅刻指導について、事前に知らせておきたい。	A	A
		頭髪・服装についてのマナーアップ運動を通年で実施する。	A	全校集会、学年集会などでも指導していきたい。	A	A
		部活動参加率を男子80%、女子70%に高める。	A	2,3年生の退部者を減らして、部活動参加率を上げていきたい。	A	A
学校関係者評価者による意見		遅刻の減少は指導の成果だと思います。きめ細かい指導を感じます。生徒達の登下校の姿が、とても立派です。				

5.保健課	規則正しい基本的生活習慣を確立し、自ら健康維持・増進に努めるよう指導する。	2年間行った生活についてのアンケート結果に基づき、平日の就寝時間・睡眠時間に目標設定をする。 平日の就寝時間12時以降 数値目標 H23年度 H24年度 35%以下 39.8% 40.1% 平日の睡眠6時間未満 数値目標 H23年度 H24年度 30%以下 33.1% 34.7%	A	来年度も今年度の実施内容を継続していきたい。担任には、年に数回、話題提供をしたい。また、運動部顧問にも睡眠の大切さを指導してもらいたい。	A	A
学校関係者評価者による意見		睡眠時間が少なくなっているのは、スマホやパソコンの関係が少なくない。特にラインは高校生のトラブルの原因になっている。人付き合いが、希薄になっているのが上げられる。PTAとしても研修会等を検討してみたい。				
6.相談課	生涯を通じて健康で安全な生活を送るための基礎を培い、たくましく生きていけるように実践能力を育成する。	教師相互の連携を密にし、情報の共有に取り組むと共に、不登校生への助言や、不登校生の早期発見に努める。	B	不登校生徒の早期の状況把握に努めたい。	A	A
		学校カウンセラーの活用により、問題を抱える生徒・保護者の安定につなげたい。	A	カウンセラーの積極的活用をはかりたい。	A	A
学校関係者評価者による意見		生徒の居場所があることは、とても大切なことであり、気苦労の多い事ですが、すばらしいと思います。気持ちの弱い子供には、抛り所になります。				
7.進路指導	自分を知り、自分を生かす進路の発見、それを可能にする基礎的な学力と実践的行動力を育成する。	盛岡大学・同短期大学部をはじめとする上級学校への進学率を8割以上を目指す。	A	調理師専門学校は、出来る限り盛岡調理師専門学校への進学を勧めたい。	A	A
		進学コース・教進コースにおいても、センター試験を受験させ特進コースと合わせて、国立大学進学希望者5割の合格を目標とする。	B	進学コースでも国公立受験に対応するため、理系の課外は必要。	A	A
		書き方指導を中心とした朝学習を通年で実施する。	B	担任の負担は大きくなるが、生徒の関心・理解も深まると思われる。	A	A
学校関係者評価者による意見		生徒も教員とともに一生懸命取り組まれている様子が分かります。大学でも理数の弱さが指摘されますので、しっかり力を付けさせて欲しいものです。また、各面で活躍されている卒業生との交流はモチベーションを上げるいい機会になると思います。				
8.家庭・地域との連携	地域に信頼される開かれた学校づくりに取り組む。	地域活動やボランティア活動への生徒参加を奨励し、地域との交流を図る。また、各部で目標を決めて取り組む。	B	生徒のボランティア活動について、広く知らせていきたい。更なる奨励をしてきたい。	A	A
		家庭・保護者との連携を深める。	B	自己評価アンケートの回収率を上げていきたい。	A	A
学校関係者評価者による意見		ボランティアは自分の職業決定にも繋がるので、とても大切なことだと思います。沢山のボランティア活動が知られていないことは残念なので、何らかの方法で、伝えてください。				
9.学校独自の活動	建学の精神に基づき広くキリスト教主義の理解を広める。	全校礼拝は全職員・全生徒が聖書・讃美歌持参で出席する。	A	年度初めに、聖書・讃美歌の有無を点検したい。	A	A
		宗教委員による司会・会場準備と説教者の確認をする。	A	説教者の都合を早めに確認したい。	A	A
学校関係者評価者による意見		建学の精神を理解し、伝承してくれていると思う。大切にしたい。				

※達成状況は教職員による学校評価アンケートや保護者・生徒のアンケート、1年間の業務遂行状況を勘案し校長がA～Dの評価をしたものである。(A 適切である B おおむね適切である C あまり適切ではない D 全く適切ではない)

※学校関係者評価は自己評価の適切さと改善策の適切さについてAからDの評価をしたものである。(A 目標を十分達成している B 目標を達成しているが改善の余地がある C 目標を達成するには幾つかの課題がある D 課題が多く改善が必要)